

たる♡はな物語

絵:くさか 里樹

たる♡はな物語とは

「たる♡はな物語」は、認知症本人と家族、そしてその周囲の人々の日常を描いたものです。そうした日常のあるあるを通して、認知症の人の暮らしの隅がいと、そのアシスト法をみなさんに、わかりやすくお伝えします。認知症は特別なものではありません。認知症の人への特別な関わり方があるわけでもありません。大切なのは、人と人が向き合う姿勢。そのことを、たるさん、はなさんが教えてくれるはずですよ。

キャラクター設定

キャラクター設定
はなさん。80歳。アルツハイマー型認知症。
たるさん。78歳。花子さんの夫。蔵相店の認知機能の低下がある。

くさか 里樹 さん(絵)

高知県生まれ。1980年デビュー。代表作として、18年続いた「ケイリン野郎」[ケイリン野郎GP] (Judy 小学館)、「ヘルプマン!!」(イブニング 講談社)「ヘルプマン!!」(朝日新聞出版) など。「ヘルプマン!!」で2011年度第40回日本漫画家協会賞大賞を受賞。

永島 徹 さん(シナリオ・監修)

◆NPO法人 風の詩 理事長
◆認知症単独型通所介護 デイホーム風のさんぽ道 施設長
◆居宅介護支援事業所 ケアプラザセンター南風 所長
◆日本認知症ケア学会 理事
◆宇都宮大学 非常勤講師
◆日本社会事業大学 通信教育課 社会福祉士養成課程 非常勤講師



「ヘルプマン」作者、くさか里樹先生インタビュー
2020年から始まった「認知症カフェプロジェクト」。認知症への理解促進と予防啓発を進めてきました。当初より挿絵をご担当いただいている「ヘルプマン」の作者、漫画家のくさか里樹先生にお話を伺いました。

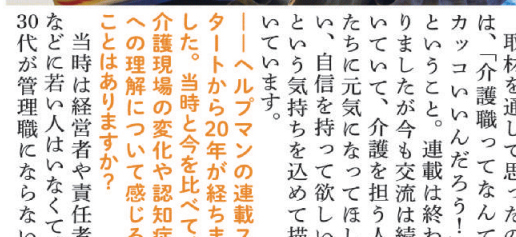
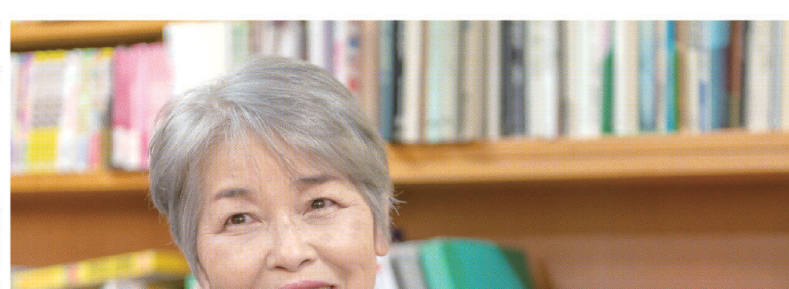
下野新聞 認知症カフェ プロジェクト2022



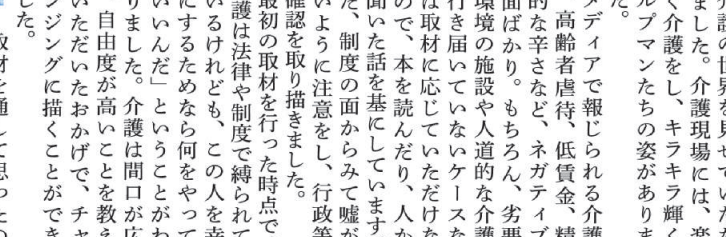
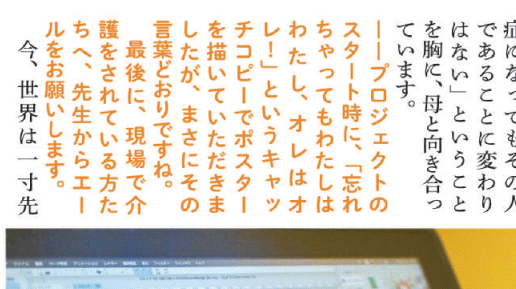
良いところも悪いところもあって当たり前
自分を責めない生き方を応援！
112003年から連載が始まった「ヘルプマン」シリーズ。合計47巻の大作ですが、これを描こうと思われたきっかけは？
デビューから2〜3年後、漫画家であることに自信が持てず、辞めたいと思っていた時期がありました。編集者のチェックを受けるのがバレー、才能がないんじゃないか、作品を描くことさえも恐ろしかったんです。
そんなある時「他人と自分を比べる人生は惨めである」という言葉に出会いました。他人の評価を気にしてばかりいる、今の自分にビビッたんじゃないか、よく考えてみたら、デビューしたばかりの新人がうまく描けるわけがない。もう人の顔色を伺ったまま描きたりするのはやめようと思った。とても楽になりました。自分の描きたいものを描こうとチャレンジしたのが「ケイリン野郎」です。メチャクチャだけど愛がある主人公の姿を通して、「みんなと違っていい」ところもあって当たり前。自分を責めなくていいんだよ」ということを伝えたい、と思いました。以来、それは私の漫画の貫いたテーマとなり、業界・職業を変えながら描いてきました。



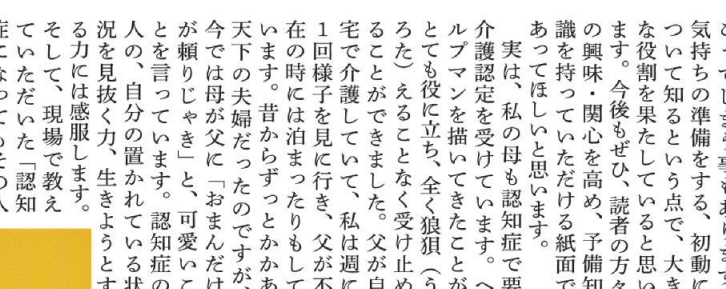
「ヘルプマン」作者、くさか里樹先生インタビュー
2020年から始まった「認知症カフェプロジェクト」。認知症への理解促進と予防啓発を進めてきました。当初より挿絵をご担当いただいている「ヘルプマン」の作者、漫画家のくさか里樹先生にお話を伺いました。



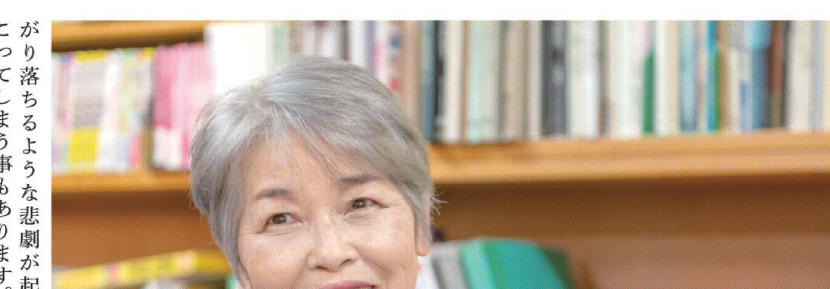
「ヘルプマン」作者、くさか里樹先生インタビュー
2020年から始まった「認知症カフェプロジェクト」。認知症への理解促進と予防啓発を進めてきました。当初より挿絵をご担当いただいている「ヘルプマン」の作者、漫画家のくさか里樹先生にお話を伺いました。



「ヘルプマン」作者、くさか里樹先生インタビュー
2020年から始まった「認知症カフェプロジェクト」。認知症への理解促進と予防啓発を進めてきました。当初より挿絵をご担当いただいている「ヘルプマン」の作者、漫画家のくさか里樹先生にお話を伺いました。



「ヘルプマン」作者、くさか里樹先生インタビュー
2020年から始まった「認知症カフェプロジェクト」。認知症への理解促進と予防啓発を進めてきました。当初より挿絵をご担当いただいている「ヘルプマン」の作者、漫画家のくさか里樹先生にお話を伺いました。



たる♡はな物語解説 ～認知症の人の苦手を理解したアシストを～

たる♡はな物語は、認知症本人と家族、そしてその周囲の人々の日常を描いたものです。そうした日常のあるあるを通して、認知症の人の暮らしの隅がいと、そのアシスト法をみなさんに、わかりやすくお伝えします。認知症は特別なものではありません。認知症の人への特別な関わり方があるわけでもありません。大切なのは、人と人が向き合う姿勢。そのことを、たるさん、はなさんが教えてくれるはずですよ。

私たちは「下野新聞認知症カフェプロジェクト」を応援しています。



企画協力

応援医療機関 応援介護 老人福祉施設

宇都宮駅前比企クリニック 宇都宮第一病院 宇都宮リハビリテーション病院 皆藤病院 見龍堂医療福祉総合クリニック 見龍堂クリニックかわせみ 済生会宇都宮病院 長島医院 那須赤十字病院 那須南病院 沼尾病院 橋本腎内科クリニック 村井クリニック 竹村内科腎クリニック 御殿山クリニック 真岡中央クリニック 緑の郷佐々木クリニック 宇都宮協立診療所 赤羽医院 デイホーム風のさんぽ道 今市ケアセンター 見龍堂メディケアユニッツ グループホームかわせみ ※順不同(医療機関、介護老人福祉施設の順)

ウィズまごダンス

メール応募キャンペーンにたくさんのご応募ありがとうございました!

Nさん 宇都宮市

1歳から90歳まで年齢問わず楽しく踊ることができ、心身共にリフレッシュできました!

Kさん 真岡市

良い運動になりました。とても手軽にできる運動なので続けたいと思います。

Oさん 下野市

リズムが楽しく、笑いながら子供と一緒に踊りました。

Hさん 小山市

体が温かくなりました。

Wさん 宇都宮市

ウィズまごダンス、楽しく踊りました!子供たちも高齢者も何回も練習しました。立てない方は椅子に腰かけ、多少アレンジをしました。その後もみんなで楽しく踊っています。

1歳から90歳まで年齢問わず楽しく踊ることができ、心身共にリフレッシュできました!

1歳の孫がしゃかりきについて見ていました。と思ったら、体を動かして始め、どうやら大きく出た皆さんの顔やネコ?さんをキョロキョロみしています!私は、手と足と一緒に動いていました!2回踊ったらいよいよ運動になりました。2回踊ったらいよいよ運動になりました。2回踊ったらいよいよ運動になりました。

動きがやわらかく、流れるようなリズムで踊りやすかった。踊ることでフレイル予防になれば一石二鳥ですね。

思ったより難しく、仲間と協力し何回も練習しやうと仕上がり、週1の体操が楽しくなりました。

はじめは画面のダンサーの動きに併せて腕と手を動かすことが精いっぱい。何回か繰り返し踊っているうちに少しずつ出てきていた。孫のような男の子のダンスのうまいこと。男体山と禅寺の景色の美しさ。栃木県の特徴が満載でした。そして楽しくなってきた。次はもう少し上手に踊れるかなと、自分に期待しています。

ウィズまごダンスの動画はこちらの二次元コードから

TEL028-623-3148

介護予防の取り組みについて詳しくはこちら

栃木県 介護予防

検索